

みんなのでつくりましょう！
強くやさしく楽しい三豊を



三豊市長
横山 忠 始

新年明けましておめでとうございます。

昨年の夏は猛暑日が続き、水不足が心配され、秋になると豪雨の日が多くなり、竜巻や大型台風等の災害が危惧されました。南海大地震に向けての心構えはもとより、以前には考えられなかった規模の気象異変による危機管理に対応できることが、行政にも皆さまお一

人おひとりにも求められています。

三豊市ではここ数年、各地域において防災組織が結成され、防災訓練がそれぞれ自主的に行われています。回数を重ねるごとに、その内容も充実し、参加者も子どもから高齢者まで一緒になって、地域をあげて取り組んでいただいております。東北をはじめ、被災地の皆さまから日頃の訓練の大

切さを言われます。

自主防災組織のないところ、訓練をしていないところは、ぜひ地域でお話し合いをいただき、自助共助努力を始めていただきたいと願います。市としても、危機管理センターを市役所隣に建設し、危機管理課を新設します。併せて分散している行政機能を一体化し、情報共有と行政効率を上げていきます。

10月に粟島で行われた瀬戸内国際芸術祭は、1カ月で32,412人もの方が来られ、にぎやかに楽しく開催されました。何よりも地元をはじめ、市内からたくさんの方々が参加していただいたのが、成功の最大の要因でした。地域が頑張れば夢は実現することが証明された芸術祭でした。

みんなが参加してまちづくりをする時代です。地域の活性化は、地域の参加と力です。支える側、支えられる側の区分はもうありません。若者も高齢者も関係なく、誰もが等しくみんなのために、自分ができる範囲で少しでも、役に立ちましょう。時間や体力に無理をせず、楽しくやりましょう。人は楽しいところに集まります。

健康寿命を延ばすにも、若者の定住にも、観光にも、産業振興にも「楽しい」は欠かせません。また、まちづくりには、女性、若者の視点が欠かせません。今後はさらに女性と若者の積極的な参加を求めていきます。

そして、みんなのでつくりましょう。強くやさしく楽しい三豊を！
本年も皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

市議会へ積極的な市民参加を



三豊市議会議長
坂口 晃 一

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

平成26年が皆さまにとって、輝かしい希望の年となることを願い、三豊市議会を代表いたしまして、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素より、議会活動ならびに市政全般に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は政権交代により、デフレ脱却を目標に新たな経済政策が次々と打ち出さ

れ、労働者の生活に直結するベア要求も促すなど、景気回復に明るい兆しが見えた一年でありました。しかし、本年は国民の生活に大きな影響を及ぼす消費税増税も実施されることで、政府も新たな経済対策を打ち出し、消費税増税により景気回復の腰折れが生じないよう、経済成長力の底上げを図っております。

また、地方自治におきましては大きな変革の時を迎えており、一昨年以来、義務付け、枠付けの見直しに

より、法整備も行われ第3次一括法の成立をみております。これにより地方分権改革は一層加速するものと思われま

私たちが市議会も、議会改革を積極的に推進するため、議会基本条例を制定し、昨年4月より施行してまいりました。議会報告会を市内3カ所で開催し、市民の皆さまから多くのご意見をいただきました。今後は、市民皆さまの多様なご意見を把握し、政策提案に適切に反映させるべく、市民参加

の機会を拡充してまいります。開かれた議会の実現を目指すために、積極的な情報の公開と共有を促進します。三豊市の更なる発展のため、議員の自己研さんと議員力の向上を図りながら努力してまいりますので、今後ともご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に今年一年が皆さまにとって、実り多き年でありますことをご祈念申し上げます。念頭のご挨拶とさせていただきます。

三豊市議会

議長 坂口 晃 一

副議長 鴨 田 偕

- 議員 多田 明治
- 宝城 史強
- 横山 文子
- 為本 文雄
- 瀧本 静子
- 三宅 文雄
- 香川 静志
- 近藤 久志
- 小藤 照武
- 大平 俊和
- 三木 樹和
- 城藤 文樹
- 近藤 賢明
- 山本 明
- 金山 辰男
- 金子 辰男
- 岩田 樹
- 詫間 政司
- 川崎 秀司
- 藤田 正男
- 前田 勉
- 西山 彰人
- 西川 公人
- 込山 文吉
- 水本 真奈美
- 浜口 恭行